

令和4年1月17日
13:30~15:00

令和3年度 第3回学校協議会 議事録

【参会者】

藤本 隆司 様（本協議会委員長）、佐々木 信子 様（スポーツ推進委員）
石部 巧 様（鳥飼東公民館館長）、堤 あけみ 様（主任児童委員）、校長、教頭 計6名出席

【内 容】

1. 授業の様子

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、協議委員による授業参観は実施せず。

2. 前回（11/25）以降の学校の様子

- ・クラブ活動は（11月24日から開始し）、12月に2回目を実施した。
- ・6年生は修学旅行後、平和学習のまとめとして、平和集会の取組をよく頑張った。
- ・3学期から6年生担任が復帰した。
- ・PTA行事は一旦延期したが、現在の新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、中止と決定した。

3. 令和3年度の学校経営計画の総括

- ・年度途中で担任の退職や病休等もあり、学校運営が困難な時期もあったが、全職員で協力して対応することができた。
- ・年間を通じて、様々な校内研修を計画。1学期は予定通り実施できたが、2学期以降は校内体制が安定しなかったこともあり、予定通り実施することができなかった。
- ・校内の様々な取組が奏功し、昨年度に比べて児童の「いじめ」に対する捉え方は大きく改善した。
- ・一方で、保護者の「いじめ」に関する取組への評価は、「わからない」の回答割合が増加した。
- ・学力面の達成目標に関して、十分な成果がまだみられていない。
- ・基礎学力の定着に向けて「宿題の量が十分である」と感じる保護者の回答割合が低い。
- ・体力向上に関して外部講師を招聘し、一輪車講習を実施。運動に取り組む1つのきっかけとなった。
- ・今年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が返却され次第、直ちに分析を行う。

4. 質疑・応答・感想

- ・先生方は忙しい中、沢山の校内研修をされている。一斉メールの配信等で、それらの努力が保護者に伝わると良いのでは？
→その都度、学校ホームページで情報発信に努めている。現在、一斉メールの配信は緊急性のある内容（不審者情報等）の発信源として活用しており、それぞれ使い分けをしている。
- ・いじめや暴力事案等は「相手がどう受け止めたか？」によって、対応が難しいと感じることがある。
- ・学校は、ペーパーレス化の取組を進めており、保護者アンケートについても今年度から電子回答方式で実施されたが、回答率があまり良くなかったため、次年度はこれまでのように紙で回答してもらう方式へ戻した方が良いのかもしれない。

- 学校だよりは、地域で回覧されているが、どうしても発行時期とのタイムラグが発生してしまう。自治会の掲示板に掲示してもらう方が、目に留まって良いのかもしれない。
- 授業では、新型コロナウイルスの心配はあるものの、子どもたちが互いの意見を取り入れ、交流活動を大切にしながら正解にたどり着くような取組が良いのではと感じる。
- 今は共働きの家庭も多く、保護者も忙しい生活を送っている時代なので、学校での取組や子どもたちの様子などをいかに保護者に伝えていくかは大きな課題である。
- 学校の様子は、子どもたち自身からの発信が一番伝わる。子どもたち自身が家に帰って保護者に「伝えたい!」「聞いて欲しい!」と思う様に、学校生活を楽しく過ごせるのが一番良い。子どもたちがどれほど学校で満足できたかが重要である。

5. その他

- 次年度の学校協議会の予定
次回は、令和4年6月頃、各学期に1回開催予定。